

8月徳育集会・終講式・津波想定避難訓練

8月6日(金)、歯科衛生学科1・2年生は前期試験を無事に終え、そして津波想定避難訓練を実施しました。避難放送の後、学生は教員の指導に従って、階段で7階の屋上まで迅速に避難をしました。その後、徳育集会と終講式を行いました。学生2名の1分間スピーチの後、学校長よりお話がありました。



1年生 伊藤 恋季さん

「今回初めての前期試験を受けてみて、テストに関する考えが甘かったこと、戻ってくるテストの点数がどうなのかが不安です。夏休みに休んだ後、中期からは気合いを入れなおして頑張りたいです」



2年生 吉野内 星光さん

「オリンピックを観戦していて、ブラジルの選手が競技中にマスクをしていたことが疑問に思い調べてみたところ、喘息の娘さんがいること、妊娠中の奥さんがいることがわかりました。その選手は、絶対にコロナにかかってはいけないという思いで協議中もマスクを着けていたそうです。夏休みに入りますが、自分だけでなく、大切な人を守るために感染予防を徹底していきたいと思います」



学校長より

「オリンピック選手はいきなりできるようになるわけではなく、毎日毎日練習をして技術を身に付けています。皆さん今回のテストを受けてみて日頃の努力が大切ということが分かったと思います。分かったということと出来たということが違うこと、出来たことを増やしていけるよう頑張ってください。また、夏休みに入りますが、コロナがまだ流行しています。自分だけでなく周りの人を大切にできるような行動をとっていきましょう」とお話がありました。